

学校名・施設名等 赤名小学校

担当者名 渡部 理駆

対象河川名 神戸川 実施時期 春

\*夏の調査期間は7月11日から8月31日までとしています。

### 取り組み状況（河川環境の状況、学習での取り組み、指導者・ボランティア等について）

〔参加学年等〕 4年生      〔参加者数〕 春調査 8人

【春の調査】調査地：神戸川源流

<調査日>2022.6.9（木） <天気>晴れ <気温>21℃ <水温>18℃

<一番多かった指標生物>ヨコエビ 28

<指標生物>カワゲラ6 サワガニ1 ナミウズムシ2 ヘビトンボ1

<その他の生物>サンショウウオ8

<水のきれい度>きれいな水 <COD>0 <pH>7

<水辺の様子> 水深はとても浅く、  
澄んだ水が流れている。

<講師の先生> 門 真一郎先生



### 子どもや教師・地域等の感想（子どもの反応や反省点、要望等）

- 水を飲んでみると、水道の水より冷たくておいしい。
- 生き物をたくさん見つけることができうれしかった。
- バックテストが楽しかった。
- 水生生物だけでなく、周辺の植物なども同時に観察することができた。

学校名・施設名等 頓原小学校

担当者名 石飛 好江

対象河川名 頓原川・神戸川 実施時期 春・秋

\*夏の調査期間は7月11日から8月31日までとしています。

### 取り組み状況（河川環境の状況、学習での取り組み、指導者・ボランティア等について）

〔参加学年等〕 4年生 〔参加者数〕 春調査 13人・秋調査 14人

【春の調査】〈調査日〉2022年7月4日（月）〈天気〉晴れ

〈調査地〉頓原駐在所付近

〈気温〉27℃ 〈水温〉22℃ 〈COD〉2 〈pH〉7

〈一番多かった指標生物〉ヒラタカゲロウ27 〈水のきれい度〉きれいな水

〈その他の指標生物〉

ナガレトビケラ8, ヨコエビ1, サワガニ1, ナミウズムシ6

コオニヤンマ1

〈水辺の様子〉水は透明で、川の底が見える。発砲スチロールのごみがあった。



春の調査

【秋の調査】〈調査日〉2022年9月9日（金）〈天気〉曇・一時雨

〈調査地①〉大万木山周辺

〈気温〉19℃ 〈水温〉16℃ 〈COD〉0 〈pH〉7

〈一番多かった指標生物〉サワガニ類10 〈水のきれい度〉きれいな水

〈その他の指標生物〉カワゲラ類3, ヒラタカゲロウ類3, ヨコエビ類1,

ナミウズムシ1, コガタシマトビゲラ類1, コオニヤンマ1

〈水辺の様子など〉水は透明で、冷たい。前日までの雨のせいか、生き物が少なかった。

〈調査地②〉わかあゆの里

〈気温〉24℃ 〈水温〉21℃ 〈COD〉2 〈pH〉7

〈一番多かった指標生物〉ヒラタカゲロウ7

〈水のきれい度〉きれいな水

〈その他の指標生物〉カワゲラ1, ナガレトビゲラ1

オオシマトビケラ3, ヒラタドROMシ1

〈水辺の様子など〉水は透明で、川の底が見える。水量が多く、流れが速い。陶器の破片や、針金などが落ちていた。



秋の調査

〈調査地③〉神戸川河口

〈気温〉24℃ 〈水温〉21℃ 〈COD〉5 〈pH〉7

〈水辺の様子など〉水辺には浮きや農薬のボトル、海外のペットボトルなどが大量に落ちていた。

### 子どもや教師・地域等の感想（子どもの反応や反省点、要望等）

【春】

○水生生物に触ることを怖がる児童がいた。身近に川がありながら、これまでに触れ合う機会は少なかったようだ。

○自分たちが住んでいる地域の川がきれいだと安心した。

○川の中にゴミがあったから、それを減らしたらもっときれいになると思った。

【秋】

○春より生き物を見つけることができなかったのは、夏の大雨に影響があるのかなと思いました。

○上流から下流まで水質はきれいだったが、河口にはゴミがたくさんあったので驚いた。

○河口には外国から流れ着いたゴミもあったので、多くの人にゴミを捨てないように呼び掛けることが大切だと思った。

学校名・施設名等 飯南町立来島小学校

担当者名 野々村 頼和

対象河川名 小田川・神戸川 実施時期 夏・秋

\*夏の調査期間は7月11日から8月31日までとしています。

## 取り組み状況（河川環境の状況、学習での取り組み、指導者・ボランティア等について）

〔参加学年等〕3・4年生 〔参加者数〕夏調査 14人・秋調査 13人

【夏の調査】2022. 7. 14(木) 〈川の名前〉小田川 〈天気〉くもり 〈気温〉16℃

※調査前に雨が降ったため、学校内で小田川の水生生物観察を行った。

〈一番多かった指標生物〉ヘビトンボ、ブユ類 〈水のきれい度〉Iきれいな水

〈その他の生物〉サワガニ、カジカガエルのオタマジャクシ、

ハヤの仲間

〈観察時の様子〉山地溪流の小田川の水やそこに住む生き物を採取し、講師の方を呼んで観察を行った。講師の方の解説によって川の様子を知ることができた。川底の様子については、頭大の石やこぶし大の石が多く、流れは速いことが分かった。川の水のにおいを感じることはなく、水は透明できれいだった。



夏の調査

【秋の調査】2022. 9. 30(金) 〈川の名前〉神戸川 〈天気〉晴れ

〈気温〉26.5℃～29.5℃

※調査は2か所行った。(①わかあゆの里付近 ②神戸川河口)

①わかあゆの里付近: 〈一番多かった指標生物〉カワゲラ類 12

〈水のきれい度〉Iきれいな水

〈その他の生物〉ヒラタカゲロウ 5、キイロカワカゲロウ 1、

サナエトンボ 1



秋の調査

②神戸川河口: 〈一番多かった指標生物〉インマキガイ 13 〈水のきれい度〉II ややきれいな水

〈その他の生物〉アリアケモドキ 1、カワゴカイ 1、ヤマトシジミ 4、ヌマエビの仲間

〈観察時の様子〉上記の2か所で調査を行った。児童は石の大きさの変化や川幅の変化にも目を向け、それぞれの場所に生息する水生生物の違いに課題意識を持ちながら取り組んでいた。また、それぞれの場所に生息する水生生物の採取場所の違いにも関心をもっていた。神戸川上流(中流)付近では、石の下などに生息していること、下流付近ではアシやコンクリートの隙間などに生息していることに気づいていた。

## 子どもや教師・地域等の感想（子どもの反応や反省点、要望等）

○場所によって水質が違ってくるのが分かりました。見た目は同じだけど、COD パックテストや指標生物、透視度計などで調べると大きく違うことに驚きました。○下流に行くにつれてきたなくなっていることに驚きました。上流から下流までずっときれいな川は無いのかなと思いました。○神戸川の水質を調べて、他の川の水質も調べてみたいと思いました。

学校名・施設名等 飯南町立志々小学校

担当者名 飯國 信行

対象河川名 神戸川 実施時期 春

\*夏の調査期間は7月11日から8月31日までとしています。

**取り組み状況** (河川環境の状況、学習での取り組み、指導者・ボランティア等について)

【参加学年等】 3・4年生 【参加者数】 春調査 6人

【春の調査】 2022.7.8(木) 〈天気〉晴れ 〈気温〉22℃ 〈水温〉25℃

〈一番多かった指標生物〉カワゲラ6 〈水のきれい度〉きれいな水

〈その他の生物〉ヒラタカゲロウ類3、ナガレトビケラ類3、ヘビトンボ2、コオニヤンマ1、カワニナ2、サカマキガイ1など。

〈水辺の様子〉川岸でゆるやかに流れているところ。

水深が浅く、こぶし大の石がごろごろしている。

まわりには葦が生えている。



春の調査

**子どもや教師・地域等の感想** (子どもの反応や反省点、要望等)

春

○学校から毎日見ている橋の下を調査しました。たくさんの種類の生き物がいることにびっくりでした。

○暑い日が続いていたため水温が高かったことに驚きました。

○きれいでない川に生息するサカマキガイが見つかって、びっくりしました。

○ほかにどのような生き物がいるのか調べてみたいです。

○今回は、川岸に近いところを調査しましたが、結果を見たときに場所等がよかったのかと思いました。

学校名・施設名等 出雲市立神戸川小学校

担当者名 尾崎 亮太

対象河川名 神戸川 実施時期 秋

\*夏の調査期間は7月11日から8月31日までとしています。

### 取り組み状況 (河川環境の状況、学習での取り組み、指導者・ボランティア等について)

〔参加学年等〕 4年生 〔参加者数〕 秋調査 125人

【秋の調査】2022.10.5(水) <天気>晴れ

<一番多かった指標生物>カワニナ 77 <水のきれい度>ややきれいな水

<そのほかの生物>ヒラタカゲロウ 36、カワゲラ類 15、ヨコエビ類 15、サワガニ 5、

ヒラタドROMシ類 10、タニシ類 35 など

<水辺の様子>

雨が降った後だったためか、少し濁っていた。水かさは普段とあまり変わらなかった。



### 子どもや教師・地域等の感想 (子どもの反応や反省点、要望等)

秋 こうしの先生のパックテストでは、川の水にお茶を少しまぜるだけで、すごくきたない水の色になったので、びっくりしました。生き物調査で一番多く見つけた生き物は、カニでした。きれいな川の水や川の生き物を守っていきたいと思いました。

成果発表会の感想 (教員)

子どもたちは、他の学校の発表に興味津々でした。発表の方法もそうですが、同じ神戸川水系でも、場所や当日の条件によって水質が変わってくることに驚いているようでした。学校に帰ってから、発表した子どもたちに他の学校の調査結果をクラスの子どもたちに伝えてもらいました。自分たちが調べることができなかった場所の水質を知れて、神戸川の水質に対してより興味を抱いているようでした。



学校名・施設名等 出雲市立須佐小学校

担当者名 伊藤 美緒

対象河川名 須佐川 実施時期 春

\*夏の調査期間は7月11日から8月31日までとしています。

### 取り組み状況（河川環境の状況、学習での取り組み、指導者・ボランティア等について）

〔参加学年等〕 4年生 〔参加者数〕 春調査 10人

#### 【春の調査】

〈実施日〉2022. 6. 24(金) 〈天気〉くもり

〈川の名前〉須佐川 〈調査場所〉須佐小学校前

〈気温〉30℃ 〈水温〉27℃

〈透視度〉47cm 〈CODパックテスト〉2mg/L

〈水のおい〉なし 〈透明さ〉少し濁っている

〈水辺の様子〉護岸工事によって整備されている。

調査をした場所の少し上流で工事をしていたため、少し水が濁っていた。

（工事は、昨年度の大雨で崩れた護岸をなおす工事）

〈指標生物〉水質階級1 カワゲラ類6 ヒラタカゲロウ類5

ナガレトビケラ類2

ヤマトビケラ類3 ヘビトンボ1

ブユ類2 ナミウズムシ6

水質階級2 コオニヤンマ2 カワニナ類5

〈水質判定〉きれいな水



### 子どもや教師・地域等の感想（子どもの反応や反省点、要望等）

春 ○川の中には小さな生き物がたくさんいるんだな、と思いました。

○指標生物を数えるのは、大変でした。

○見たことのない生き物がたくさんいました。

○須佐川には、たくさんの生き物が住んでいることが分かりました。

○川に、ちょっとだけゴミがあったので、ゴミを捨てないでほしいと思いました。

→川の環境を守ることを呼び掛けるポスターを作製。

○須佐川の水は、きれいな水なのでずっと守っていきたいと思いました。

#### 成果発表会

○他の学校の人たちの取り組みについて知ることができてよかったです。（児童感想より）

○それぞれの学校が地域の実態に合わせていろいろな取り組みをしておられることが分かりました。（保護者さんの感想より）

学校名・施設名等 出雲市立多伎小学校

担当者名 大野 正士

対象河川名 宮本川 実施時期 春

\*夏の調査期間は7月11日から8月31日までとしています。

### 取り組み状況 (河川環境の状況、学習での取り組み、指導者・ボランティア等について)

〔参加学年等〕 4年生 〔参加者数〕 春調査 31人

2022. 6. 10 (天気)晴れ (気温)17℃ (水温)14℃

<一番多かった指標生物>ヒラタカゲロウ類34 <水のきれい度>きれいな水

<その他の生物>カワゲラ類15 サワガニ15 ナガレトビゲラ類14

チラカゲロウ14 コガタシマトビゲラ類14

ヒゲナガカワトビゲラ類11 ヘビトンボ2 ヒラタドROMシ類1

<pH>7.0 <COD>1

<水辺の様子>雨上がりだったため、水位は子どものひざ下くらいだった。

水は透明で川底まで見えた。

<川の中のゴミ>なし

<河原のゴミ>なし



### 子どもや教師・地域等の感想 (子どもの反応や反省点、要望等)

#### 【環境調査】

○虫は苦手でしたが、観察したり、触ったりしたら、かわいくなりました。

○カジカガエルの声も聞こえました。

○透明できれいな水を見たことがなかったのでびっくりしました。

○宮本川は本当にきれいな川だなと思いました。

○宮本川に行ってみて、自然を大切にしたいなと思いました。

○宮本川はこれからもきれいなままでいてほしいです。

○自分たちの住んでいる地域を大切にしたいです。

○宮本川環境を見守りたいです。

学校名・施設名等 出雲市立佐田中学校

担当者名 辻村 優介

対象河川名 神戸川 実施時期 春

\*夏の調査期間は7月11日から8月31日までとしています。

### 取り組み状況（河川環境の状況、学習での取り組み、指導者・ボランティア等について）

〔参加学年等〕 1年生 〔参加者数〕 春調査 24人

2022.6.16(木) <天気>晴れ <気温>28℃ <水温>20.5℃

<一番多かった生物>ヒラタカゲロウ類27 <水のきれい度>きれいな水

<その他の生物>カワゲラ類13、ヒラタドROMシ類7、カワニナ類6、ヘビトンボ1など

<水辺の様子>

- ・流れの速さ、水量は普段と変わらない。
- ・河原で石が多く堆積している。植物も多い。



### 子どもや教師・地域等の感想（子どもの反応や反省点、要望等）

○私は、水質は「ややきれい」だと思っていたけれど、「とてもきれい」だったので嬉しかったです。これからも身近な神戸川を大切にしてお過ごしていきたいです。

○今回の授業でどんな生き物がいると川がきれいなのか、きたないのか分かりました。また、川の大切さにも気づけました。

○川を大切にするには、水質調査を通して常に水質を把握したり、生息する生き物を守ったりすることが必要だと思いました。

（生徒の感想から）



学校名・施設名等 出雲西高等学校インターアクトクラブ

担当者名 顧問 新田 篤生

対象河川名 神戸川 実施時期 夏・秋

\*夏の調査期間は7月11日から8月31日までとしています。

### 取り組み状況（河川環境の状況、学習での取り組み、指導者・ボランティア等について）

〔参加学年等〕高校1・2年生 〔参加者数〕夏調査10人・秋調査10人

【夏の調査】2022.7.16(土)〈天気〉曇 〈気温〉27.0℃ 〈水温〉25.0℃

〈一番多かった指標生物〉ヒラタカゲロウ類 27 〈水のきれい度〉きれいな水

〈その他の生物〉ナミズムシ 5、カワゲラ類 2、キイロカワカゲロウ 11、

キイロタニガワカゲロウ 2、トビロカゲロウ 3、トビケラ 2、

コカクツツトビケラ 1、タニガワカゲロウ 75、ニンギョウトビケラ 1

〈水辺の様子〉今回は警報が発令されたため、川から離れたところで

COD パックテストや透視度調査、水生生物調査を行った。川の中に

入っている時間はわずかだった。透視度調査は、測定値 64cm で、

やや濁った水の状態だった。（COD パックテスト 3~4mg/L）



【秋の調査】2022.9.17(土)〈天気〉曇 〈気温〉27.0℃ 〈水温〉26.0℃

〈一番多かった指標生物〉カワゲラ類 12

〈水のきれい度〉ややきれいな水

〈その他の生物〉ヒラタカゲロウ類 5、ヘビトンボ 1、オオシマトビケラ 1、

ヒラタドROMシ類 5、コオニヤンマ 1、カワニナ類 10、ユスリカ類 1 他

〈水辺の様子〉7月の調査では、天候不順のため、川の中に入ることが

あまりできなかったが、今回は川の中に入り、水生生物を捕まえたり

川の状況を直接感じたりすることができた。透視度調査は、測定値 100cm 以上であった。

（COD パックテスト 3mg/L）



### 子どもや教師・地域等の感想（子どもの反応や反省点、要望等）

**夏** ○普段は、川を見た目で「きれい」「汚い」と判断しているが、調査し、データから判断することにより、より深く川の水質等の状況を知ることができ、とても勉強になった。また調査に参加したいと思った。

○初めて調査に参加する生徒達もいたため、調査をすることが川の水質や環境等を考える良いきっかけになったと思う。

**秋** ○今回の調査は7月に実施した際と気温・水温共にあまりかわらなかったためか、水生生物の数は多かったと思った。また、7月と比べて透視度調査は100cm以上と、とてもきれいな状態に戻っていた。

○網で川の中をすくってみると、小魚などの水生生物を捕まえることができた。また、石の下をみると、網ではすくえなかったとても小さい水生生物を見ることができた。

学校名・施設名等 雲南市立大東小学校

担当者名 佐藤 慎悟

対象河川名 赤川 実施時期 秋

\*夏の調査期間は7月11日から8月31日までとしています。

### 取り組み状況（河川環境の状況、学習での取り組み、指導者・ボランティア等について）

〔参加学年等〕 4年 〔参加者数〕 秋調査 35人

【秋の調査】 2022.10.7(金)

〈天気〉晴れ 〈気温〉26℃ 〈水温〉19℃

〈一番多かった指標生物〉カワニナ 42

〈水のきれい度〉ややきれいな水

〈その他の生物〉スジエビ 11、コオニヤンマの

ヤゴ 1、トビゲラ類 13、(種類はわからない)

稚魚 15、(種類はわからない) ヤゴ 10



### 子どもや教師・地域等の感想（子どもの反応や反省点、要望等）

子どもたちは大変意欲的に活動に取り組みました。たくさんの指標生物を捕まえて、赤川の水質に関心をもって学習することができました。

〈子どもの感想から〉

- ・赤川の水がややきれいなことがわかってよかったです。これからも赤川の水がきれいになれるように、自分たちにできることをしていきたいと思います。
- ・自分たちの身近な赤川にこんなにたくさんの生き物があることがわかってびっくりしました。生き物たちがもっと住みやすい川になるといいです。

学校名・施設名等 雲南市立阿用小学校  
 担当者名 島 裕司  
 対象河川名 阿用川 実施時期 春

\*夏の調査期間は7月11日から8月31日までとしています。

**取り組み状況** (河川環境の状況、学習での取り組み、指導者・ボランティア等について)

〔参加学年等〕 4年 〔参加者数〕 春調査 15人

【春の調査】2022.7.5(火)〈天気〉晴れ 〈気温〉36℃ 〈水温〉25℃

<一番多かった指標生物>ヒラタカゲロウ37

<水のきれい度> きれいな水

<その他の生物> ナガレトビケラ8、コガタシマトビケラ7、ブユ4、  
 ヤマトビケラ3、サワガニ1、ヨコエビ1 など

<水辺の様子> ・護岸は整備されているが土が堆積し、水辺は雑草で覆われており自然に近い状態。・雨の次の日であり水量は多少多め。流れは穏やか。



**子どもや教師・地域等の感想** (子どもの反応や反省点、要望等)

〔児童の感想より〕

- ・阿用を流れている(自分たち)川がきれいでうれしかった。
- ・予想通りきれいでよかった。たくさんの生き物がいてびっくりした。
- ・今はきれいだけれど、これからずっときれいだとは限らない。自分たちもよごさないためにがんばらないといけないと思った。
- ・森の学習で川と森のことを勉強した。森があるから生き物がすめるんだと思った。
- ・阿用の川は、いろんな人を助けている。すごいと思った。

○ 地域の交流センターや水道局など、様々な方の協力を得ながら活動することができました。子どもたちは水辺の学習に留まらず、川の働きや川の歴史などを学ぶことができ、それが「ふるさとの誇り」につながっていったように感じました。